読書

著者とひととき

14歳、明日の時間割　鈴木るりかさん

すずき・るりか　2003年東京都生まれ。作家、中学3年生。デビュー作「さよなら、田中さん」がベストセラーになった。

苦しさも小説のネタに

小学4、5、6年と3年連続で、小学館主催の「12歳の文学賞」大賞を受賞し、中学2年生の時に「さよなら、田中さん」で作家デビュー。中学3年となり、15歳の誕生日に第2作「14歳、明日の時間割」を刊行した。

地方都市の中学が舞台の連作短編集。著者自身を思わせる中学生作家の明日香と、彼女の家族を描く巻頭の短編「国語」で、一切本を読まず語彙が貧困な明日香の父は「（明日香が）脂が乗ってる」という編集者の褒め言葉を「（顔が）脂ぎっている」と勘違いする。

「実は3割ぐらい私小説」と明かす。デビュー以来、両親が読書家なのかと散々聞かれたが「父が読めないから、逆に私が本をすごい好きになったのかな」と笑う。

夢を諦めきれず文学賞に応募を続ける大人をちょっと意地悪く書いたと思えば、老いを見つめるお年寄りの内面も描く。後者は自分の祖父2人の経歴や言葉を組み合わせて造形したという。「周りの人たちの言葉は私の中に入っている。いつか小説に使うかもしれない」

字が読めない頃から、絵本の絵だけ眺めて一人で物語をしゃべっていた。好きな作家は小学校の司書に教わった志賀直哉に吉村昭。本は読まないが映画「男はつらいよ」シリーズの大ファンという父からは、昭和文化についての薫陶を受けた。

物語はどこからか「降ってくる」。ぼんやりとでも話の方向性が決まれば「登場人物が勝手に動きだしてくれる」。プロットを事前に考えたりすることもないという。学校に通う傍ら週末や夏休みなどに書きためる。「書いていてつらいと思ったことはないですね」

早熟で才気煥発な中学生作家のイメージ通りだが、いざしゃべるとテンポはゆっくり、おっとり。あどけなさも残る。中学は女子校で、小説で描くような同世代の男子に会う機会はなく「必死に想像して書いた」という。裁縫と料理が好きで、取材を受けるのは家庭科クラブの活動がない日だ。

「嫌なことも苦しいことも面白がれるのが長所で、食べていればとりあえず大丈夫。何でも小説のネタにしていきます」

（「14歳、明日の時間割」は小学館・1404円）

はつ恋

50歳目前、正直に生きる

評・大鋸　一正（作　家）

むらやま・ゆか　1964年東京都生まれ。作家。「星々の舟」で直木賞。「ダブル・ファンタジー」で中央公論文芸賞。

村山　由佳　著

もうすぐ50歳になる小説家のハナは、南房総の一軒家に猫のユズと暮らしている。執筆活動の傍ら、隣のおじいさん、亀吉さんの手を借りつつ庭の手入れをする毎日だ。子どもの頃に住んでいた大阪にいる年下の幼なじみ、大工のトキヲと遠距離恋愛中である。2人とも結婚には2度失敗した。それぞれに年老いた親を持ち、トキヲには前妻との娘がいる。トキヲは白い車でやって来る。電話は毎日だが、それぞれ自営の2人は、月に数日、会うのがやっとだ。

そんなハナの1年が季節の移り変わりとともに描かれる。そこには、二つの時間が混在している。

一つは、ハナが家や庭の手入れをしている、みずみずしい今の時間。都会から離れたのどかな南房総での四季の花々や旬の食材をめでる暮らし。もう一つは、そうしながらも心の中でトキヲを待ち焦がれ、常に思い出されるトキヲと過ごした時間。おおらかな性質ながら、細やかな気遣いもできるトキヲとの親密なやりとり。

そして、距離を超えてトキヲが会いに来る時、二つの時間が一つになる。

今はお互いの暮らしを尊重し、離れたままで暮らしているが、この相手を失いたくないと思う気持ちは、これまで経験した恋や、相互依存に近い結婚生活とも違う。

人生を折り返す年齢だ。一生のうちで最も多くのものを抱え込む時期だろう。これ以降も増え続けるが、それ以上に失われるものが多くなるだろうから。

「今はまだ、かかえている執着すらも、急いで手放す必要を感じない。（略）むしろ今は、生の喜びにしっかりとしがみついていたい」

求めるものを諦める理由を探す必要はない。すぐには解決しない問題もある。だから、欲望も困難もそのまま持ち続ければいい。トキヲと会えない時もハナの人生なのだ。

将来を設計するでも、過去を見送るでもない、それらに挟まれた今を惜しみ、正直に丁寧に日々を送る。そうでなくて、いつ恋をしたと言えるだろう。

（ポプラ社・1620円）

雨上がりの川

明るい方へ確かな一歩

評・馬場めぐみ（歌　人）

もりさわ・あきお　1969年千葉県生まれ。小説家。「虹の岬の喫茶店」「夏美のホタル」など映画化された作品が多数。高倉健さんの遺作となった映画「あなたへ」の原案の小説化も手掛けた。

森沢　明夫　著

読後感は澄んだ空のように爽やか。人の心に確かにある優しい気持ちと、それが発するささやかな光をそっとすくいあげていくような小説だ。

業界誌の編集者である川合淳は1年ほど前まで、かつて理系の研究者で現在は専業主婦の妻の杏子、中学2年生でかわいらしく聡明な娘の春香とともに、幸せな日々を送っていた。

ベランダから川が見える、お気に入りのマイホームでの穏やかな暮らし。そんな3人の生活は、春香が学校で執拗ないじめにあったことが原因で一変する。

春香は顔に痕の消えない傷を負わされた翌日から学校へ行かなくなり、本来リアストであったはずの杏子は娘を救いたい一心からか、自らを霊能者だと語る紫音という女性に傾倒してしまう。淳は、妻が騙され洗脳されているのではないかという不安を覚え、春香は、自分が母を苦しませた揚げ句、壊してしまったのだと悩む。

そんな中、淳と春香がそれぞれ、川でいつも釣りをしている元心理学者の老人と出会ったことをきっかけに物語は動きだす。

杏子に反論せず自らも紫音の元に通うようになり、ついには自分も霊能力に目覚めた春香の姿を見て、杏子は喜び、淳は動揺する。しかしそれは春香の、家族の絆を確かに取り戻し、自らの心の傷を乗り越えるための果敢な試みなのだった。

巧みな物語展開の中で、読者は川合家とともに、生きる上で降りかかるつらい出来事との向き合い方、自分を騙そうとした人が本当にただの悪人なのかについて考えることになる。人は皆、外からは見えない苦しみの中で、幸せになるためにもがいているのかもしれない。

そして、たとえ消しようがない傷を抱えても、憎しみや悲しみにはそっと手を振って、明るい方へと自分の足で歩いていくことがきっと、私たちにはできるのだ。

（幻冬舎・1728円）

文庫往来

▷森絵都著「みかづき」

昭和30年代の千葉県。小学校の用務員でありながら勉強を教えることが得意だった大島吾郎は、ある少女の母親・赤坂千明の誘いで学習塾を始める。やがて2人は結婚し、子どもも生まれる。高度経済成長の流れを受けて塾も急成長するが…。大島家の塾経営の軌跡を描いた大河小説。

（集英社文庫・950円）

▷門井慶喜著「家康、江戸を建てる」

水害の元凶だった利根川の流れを変え、貨幣の統一を試み、「井の頭」から水路を引く―。「だめな土地」を開拓し、大都市・江戸を築いた徳川家康とその家臣、そして、地元の職人たちの奮闘を記録した歴史小説。（祥伝社文庫・929円）

▷ペーター・ヴォールレーベン著「樹木たちの知られざる生活　森林管理官が聴いた森の声」

「人間と同じように木も痛みを感じ、記憶もある。木も親と子がいっしょに生活している」。病気で弱っている仲間に栄養を分け与えたり、成長する若木を親木が〝教育〟したりするなど、動かず声も出さない樹木の知られざる生態を、ドイツで長年森林管理に携わる著者が紹介する。

（長谷川圭訳、ハヤカワ文庫NF・756円）

▷秦新二、成田睦子著「フェルメール最後の真実」

現存する作品は世界に三十数点。一点でも多くのフェルメールを日本へ、と奮闘する美術展プロデューサーが、手掛けた展覧会の舞台裏をつづる。最初となった2000年の大阪展には同時期に開催を目指す強力なライバルがいた。背景にはフェルメール作品を動かしているシンジケートの男たちの争いがあった。（文春文庫・1080円）

▷草森紳一著「本が崩れる」

蔵書が雪崩を起こし、風呂場に閉じ込められた思い出などをつづった表題作から、こよなく愛した野球やたばこにまつわる思い出まで。漫画、建築など多分野に精通し、サブカルチャー創生期の書き手として活躍した著者のエッセー集。

（中公文庫・950円）

▷飯田泰之著「新版　ダメな議論」

近年は昔に比べて少年の凶悪犯罪が増えているといった事実誤認のように、単純なデータ観察で否定される主張。定義が曖昧なまま始められる、「超能力」が存在するのか？という討論。そうした、メディアや会議の中に潜む「安易に納得してはいけない〝ダメな議論〟」を見抜くための技術を紹介する。（ちくま文庫・799円）

新刊抄

義のアウトサイダー

新保　祐司　著

日本文学は自然主義文学以来、小説を主たるものとする軟文学だった、という著者による硬文学としての人物論集成。内村鑑三の言う「義」に生きた思索者たちを追っている。登場するのは北村透谷、大仏次郎、信時潔、そして田中小実昌ら。

三島由紀夫は「美」の天才だったが、義という崇高にひかれていった人。批評とは他人の作品を使って自己を語ることと言った小林秀雄は、究極的には美の世界の人。戦後的価値としての多様性を疑い「一なるもの」の希求が思索を導くと説く。

（藤原書店・3456円）

二軍監督の仕事

高津　臣吾　著

仕事に面白さを感じるのは、10代の選手を育成できることだという。彼らの力をどう伸ばそうかと自らの「育成欲」がどんどん湧き、彼らを育てることが「僕の生き甲斐（がい）」。1軍に送り出すときは「自分の子どもを手放すような気持ち」になる。

選手として活躍し、現在は東京ヤクルトスワローズの2軍監督を務める著者が、2軍だからこそ重視している考えを記す。試合の勝敗が持つ意味も、1軍とは違う。そして誤解を恐れず言う。「育てるためなら試合では負けてもいい」

（光文社新書・864円）

となりの脳世界

村田沙耶香　著

芥川賞受賞作「コンビニ人間」などで知られる人気作家のエッセー集。デビューからこれまでに書かれた72編を収録する。

恋に強烈な憧れを抱いた少女期、鮮明に記憶している存在しないはずの同級生、コンビニエンスストアへの愛、幻の「こそめスープ」、スポーツ観戦で「右側」か「上側」を応援する理由…。

豊富なエピソードから浮かぶのは、誠実に、切実に生をまっとうしようとする姿。著者のどこか奇妙な物語がなぜ読み手の心を打つのか。その秘密が垣間見られる。

（朝日新聞出版・1512円）

〈受胎告知〉絵画でみるマリア信仰

高階　秀爾　著

西洋美術において、重ねて主題として取り上げられてきた「受胎告知」。新約聖書の福音書に登場するエピソードに基づく絵画がどのように生まれ、多くの芸術家がどのように描き、民衆の心を捉えてきたのか。多様な例を比較しながら構図や背景を読み解く。

大天使ガブリエルが聖母マリアを訪ねて「あなたは身ごもって男の子を産むが、その子をイエスと名付けなさい」と告げる出来事を描いた作品の多彩さや奥深さは、キリスト教徒の祈りが生み出してきたものと伝わる。（PHP新書・994円）

県からのお知らせ

※各記事の詳しい内容は㊐にお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

宮城県公共施設等総合管理方針の改訂案の意見募集

県が所有・管理する公共施設に関する管理の基本方針を定めた「宮城県公共施設等総合管理方針」の改訂に当たり、県民の皆さんからご意見を募集しています。

●募集期限／1月20日(日)
●資料公表場所／下記ホームページ、管財課、県政情報センター、各地方振興事務所(仙台を除く)県政情報コーナー
㊐ **管財課** ☎022(211)2352
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kanzai/kanrihoushinpc.html

青少年のインターネット安全安心利用推進フォーラム

スマートフォンなどの普及に伴い、青少年がいわゆる「自画撮り被害」などのネットトラブルに巻き込まれるリスクが高くなっています。インターネット安全安心利用について啓発を図るフォーラムを開催します。

●日時／1月23日(水)午後1時～4時(正午受け付け開始)
●場所／エル・パーク仙台セミナーホール
●定員／100人(先着順)
●費用・申し込み／無料・1月16日(水)までに、電話またはファクシミリ、Eメールなどにより下記へ
※詳細はホームページをご覧ください。
㊐ **共同参画社会推進課**
☎022(211)2577 FAX022(211)2392
Eメールseisyo9@pref.miyagi.lg.jp
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/internet-forum.html

障害者差別や虐待の相談窓口

障害があることで障害のない人たちとは違う扱いを受けて困ったり、暴言や暴力を受けるなどして嫌な思いをしたりしたことはありませんか。

センターでは、障害者差別や虐待の相談を受け付けています。

障害のある人が通う福祉施設や企業において、差別や虐待を防止したいという場合にもご相談ください。研修の実施などの支援をしています。

●相談／宮城県障害者権利擁護センター
☎022(727)6101
●受け付け／月曜日～金曜日(祝日を除く)午前9時～午後5時
㊐ **障害福祉課** ☎022(211)2558

家計調査へのご回答をお願いします

総務省からの委託により1年を通して家計調査を実施しています。家計調査は、家計簿などを記入していただくことで、国民生活の実態を家計収支の面から明らかにする国の重要な統計調査です。提出された調査票(家計簿など)は、統計法に基づいて厳重に管理され秘密の保護には万全を期しています。

調査員がご家庭に伺った際には、大切な調査であることをご理解いただき、ご回答をお願いします。

㊐ **統計課** ☎022(211)2455

みやぎっこ応援ローン

県内の金融機関と協働し、子育てに必要な資金を低金利で借り入れできる融資制度を実施しています。ぜひ、ご利用ください。

●対象／県内在住で22歳以下の子どもを扶養している方及び妊娠中の方
●融資金額／最大500万円(各取扱金融機関の定める金額)
●対象資金／子育てに必要な資金全般(一部対象外経費あり)
●受付窓口／県内の取扱金融機関
●その他／金利や返済期間などは取扱金融機関により異なります。また、審査によりご希望に沿えない場合があります。
㊐ **子育て社会推進室** ☎022(211)2528

食の安全安心セミナー参加者募集

●内容／講演(第一部)「日本が誇るだし文化」、(第二部)「くらしに役立つ食品表示」
●日時／2月1日(金)午後1時30分～4時30分
●場所／エルパーク仙台セミナーホール
●定員／100人(先着順)
●費用・申し込み／無料・事前に電話、ファクシミリ、Eメールにより下記へ
㊐ **食と暮らしの安全推進課**
☎022(211)2643 FAX022(211)2698
Eメールsyokua@pref.miyagi.lg.jp

昔のお宝映像をご開帳！16ミリフィルム映画上映会

宮城県図書館に所蔵している16ミリ映画フィルムの中から厳選し、「宮城の子供たち」というテーマで3作品を上映します。

●開催日時／1月17日(木)午後0時05分～0時50分
●開催場所／県庁1階みやぎ広報室
●上映作品／「光明の子供たち」(昭和47年)、「海の子　山の子」(昭和49年)、「おてんとさんと子どもたち」(昭和49年)
㊐ **宮城県図書館音と映像のフロア**
☎022(377)8446
http://www.library.pref.miyagi.jp/

女性医師による女性の健康相談

思春期や更年期に伴う身体的・精神的不調、家庭や職場でのストレスなど健康について悩んでいる女性の相談に応じます。(完全予約制・相談無料)

●相談日時／1月26日(土)午後2時～4時
●会場／塩竈市民交流センター
●予約先／☎090(5840)1993(月曜から金曜(祝日を除く)午前9時～午後5時)
※予約は上記携帯電話でのみ受け付けます。
㊐ **健康推進課** ☎022(211)2623

第39回東北南部三県警察音楽隊演奏会

●日時／2月16日(土)午後2時～4時30分
●場所／仙台銀行ホール イズミティ21大ホール
●費用／無料
●入場方法/2月8日(金)午前9時から県内各警察署および警察本部で配布する整理券(1人2枚まで。無くなり次第終了)を持参(整理券1枚につき1人入場)。
㊐ **警察本部広報相談課**☎022(221)7171

外国人技能実習生との交流イベント参加者募集

インドネシアやベトナムなどの出身の技能実習生と軽食を囲みながら交流しませんか。

●日時／1月27日(日)午後1時30分～4時
●場所／塩竈市魚市場中央棟
●対象／一般県民50人程度
●費用・申し込み／無料・申込書に必要事項を記入し、下記へ
●申込書／ホームページからダウンロード
㊐ **国際企画課** ☎022(211)2972
http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ftp-kokusai/

企業BCP策定セミナー受講者募集

●内容／BCP作成体験演習
●対象／宮城県内企業
●定員／30人(1企業あたり2人まで)
●日時／2月20日(水)午前10時～午後5時(受け付け：午前9時30分～)
●場所／県庁2階第二入札室
●費用・申し込み／無料・2月13日(水)までに、所定の申し込み用紙に必要事項を記載し、ファクシミリまたはEメールにより、下記へ
㊐ **中小企業支援室**
☎022(211)2742 FAX022(211)2749
Eメールchukisik@pref.miyagi.lg.jp

測量士・測量士補試験

●試験日／5月19日(日)
●試験地／宮城県ほか全国13都道府県
●出願／1月28日(月)までに郵送(消印有効※後納郵便または別納郵便の場合は必着)または持参により国土地理院総務部総務課試験登録係へ
●願書／1月28日(月)まで下記および県の各土木事務所で配布
㊐ **国土地理院総務部総務課試験登録係**
〒305-0811　茨城県つくば市北郷1番
☎029(864)8214
㊐ **用地課** ☎022(211)3122

1月10日は110番の日

110番は、緊急を要する事件事故の専用電話です。警察官が急行し、被害者の救出や、犯人の早期検挙を行うためのものです。緊急の場合は「110番」、緊急性のない相談などは警察相談電話「#9110」または各警察署へお願いします。

言葉や耳の不自由な方は、Eメールやファクシミリでの110番をご利用ください。

●メール110番／miyagi-110@dk.pdx.ne.jp
●FAX110番／022(215)0110
㊐ **警察本部通信指令課** ☎022(221)7171

※12月2日付け新聞「県からのお知らせ」の「高齢者の権利擁護相談」の受付時間に誤りがありました。お詫びして訂正します。
(正)午前10時～午後3時
(誤)午前10時～午後4時

高齢者の権利擁護相談
高齢者に対する暴力や暴言、金銭の使い込みなど、高齢者の権利侵害に関してのお悩みについて相談を受け付けます。
宮城福祉オンブズネット「エール」
☎022(722)7225
月曜～金曜(祝休日を除く)
午前10時～午後3時

企画／宮城県広報課

二日酔漢方
【効能・効果】体力中等度以上をめやすとして、のどが渇いて、尿量が少ないものの次の諸症　嘔吐、じんましん、二日酔、むくみ
精華 肝胆丸®
2日分（60丸）1,000円（税抜）
第2類医薬品　この医薬品は「使用上の注意」等をよく読んで正しくお使い下さい。
資料請求
住所・氏名明記の上「河北1810」係迄ご請求下さい。
www.yatsume.co.jp
八ッ目製薬
☎ 03（3841）4391
■ハガキ　東京都台東区浅草1-10-4（〒111-0032）
■FAX　03（3841）9515
■E-mail　info@yatsume.co.jp